

コミュニティ・スクール情報

2022. 8. 1

第2回 おらほの学校づくり協議会 会議録

月日：令和4年7月11日（月）

時間：11：30～14：30

場所：東郷小学校 集会室

○授業参観 11：30～12：15

- ・1年生は、各自が育てた朝顔の観察日記の授業を行っていた。
- ・2年生はタブレットを使いながら「三川町を知る」をテーマにグループでの話し合いを行っていた。
- ・3, 4年生は水泳の合同授業。水に入って指導する先生とプールサイドから監視する先生に分かれ4名体制で安全に配慮しながら行っていた。
- ・5年生は英語授業で、ヒヤリングワークテストの練習を行っていた。難しい内容に取り組んでおり、委員の方も驚いていた。
- ・6年生は社会科の授業で「縄文のむらから古墳のくにへ」の内容で調べ学習を行っていた。



○給食試食 12：15～12：30

- メニュー…ご飯・味噌汁・野菜とサンマ煮・牛乳
- ・委員の方からは、ご飯が美味しいことや、量に関する質問、アレルギー対応食についての質問があった。

○協議会

1. 校長先生より近況報告

- ・6/5 ミニ運動会 6年生が中心となって企画・運営を行った。縦割りで班をつくって実施した。
- ・6/14 東郷逃走中 新行事として6年生が中心に行い、先生もハンターになり一緒に活動した。
- ・6/18 プール清掃 みんなで協力しながらプール掃除を行った。
- 21 プール開き
- ・6/18 相撲大会 1～3年生の化粧まわしを披露した。東郷小らしい行事となった。仲のよい子同士でも真剣にぶつかり合い、競い合う姿に感動した。
- ・6/21 演劇教室 コロナ禍で久しぶりに実施できた。劇団も密にならない工夫をしてくれた。
- ・6/23 人形劇 友引会（曹洞宗の若い僧侶さん達）が人形劇を披露。低学年をはじめ、みんなとても喜んでいました。
- ・6/28～自然教室 （一泊二日、金峰自然の家）一回り成長して帰ってきた姿が見られた。
- ・7/5 防災総会 自然災害への対応を学んだ。河川事務所の職員の方を招いて実施。避難訓練で火災・地震の訓練はやっているが、身近な河川の災害について学ぶことで、児童自身の防災意識がより高まった。
- ・学校目標を昨年度から大幅に変更した。学校の様子として、大きな変化は表れていないが、職員の意識はあきらかに変化したように思う。以前よりも子どもを中心とした授業を仕組み、お互いに情報交換を図りながら取り組んでいるように感じている。東郷タイムなどで子どもの意見を取り入れ運営するなど、よい面が出ている。課題としては、学習ルールの定着といった学習規律の指導を優先することで教師主導の時間が多くなったり、しゃべり過ぎたりといった反省が出ている。継続的に職員間で話し合いながら学校目標達成に向けて進めていきたい。

教頭先生より「東郷小学校いじめ防止基本方針」の説明

- ・先日までの認知件数60件（昨年度と同じ）。今後、保護者と連携をとりながら解決に向かいたい。

2. 子どもの様子や学校の様子をみて感じたこと

- ・今日の授業の様子や、相撲大会の様子を見て、子どもたちが元気で嬉しく感じた。学校全体の環境もよい。相撲大会の意義として、土俵に上がる勇気など大切にしたい。
- ・いじめられた児童へのカウンセリングと同時に、社会で逞しく生きていくための指導も大切。
- ・授業を見て、子どもの素直さを感じた。
- ・水泳学習での学校側の配慮を見て、監視（先生）する人数が多く安心感があった。
- ・相撲大会の様子を見てこの行事のよさを再確認した。様々な意見がある中、学校側の決断を評価したい。テントの数が少なかったことや、待ち時間が多かったことは次年度への反省にしてほしい。
- ・子どもの理解力の差への対応や、発言をしたいが取り上げられない児童へのフォロー面の大切さも重視してほしい。
- ・いじめ対応で、より保護者や家庭との連携を密に行い、家庭には、子どもを学校が守ってくれているという安心感を保ちながら解決に向けて行ってほしい。
- ・登下校の熱中症対策と熱中症予防のための生活リズムを確立していきたい。
- ・気候の変化に伴い、体育的行事や校外体験等の行事がある期間に集中してきている。
- ・相撲大会の時期、中学校の総体と重なり双方に子どもがいる家庭にとっては残念に感じている。
- ・先生方の働き方についてであるが、子どもの減少に伴う職員の減少や職員の負担など、法的な改善で解決策につながるようにならないのか疑問に感じている。
- ・授業のデジタル化が職員の負担軽減につながっていかないのか。

⇒過渡期であり、今はタブレット活用のノウハウの蓄積などを行っている段階なので負担となっている。それが進めば負担は減ってくるだろう。職員間での学習シートなどの共有などは行われてはいるが、の年その年で子どもの実態が違うので、子どもの実態に合わせて授業を仕組むと、同じ学習シートを使うことには難しさもある。



3. 児童の思いを聞く会（中学校の部活動に対して）

（児童）

- ・テオトルなどでも行える部活をつくってほしい。
- ・三川中学校の活動には文化部の活動が少ないので範囲を広げてほしい。
- ・スポーツ少年団活動を続けたい。連携した部活動にしてほしい。
- ・体操（クラブ）とバレエ（踊り）を両立したい。共に中学校の部活ではない。
- ・芸術や文化部の活動範囲を増やしてほしい。
- ・指導者の人数を増やし交代で指導にあたるようにできたらよい。
- ・楽しい部活動になるようにしてほしい。
- ・入りたい部活がない。内申点に関わるとも聞いた。
- ・指導者がいなくても、自分たちでできる部活動にしてほしい。

（委員）

- ・楽しみたい。バリエーションが少ない。やりたい部活などは何か。
→絵を描いたり、写真部などがあってもよい。
- イラストレーターに将来なりたいのでそれができる部活。
 - ・大会で勝利をめざすような部活か楽しめる部活か。
→勝ちをめざすことにもこだわりたい。楽しく友だちをつくり活動することも大切。
 - ・部活動に入って「勝ちたい」のか「仲間と楽しみたい」のかどっちか。

- 勝てるように鍛えたい。
- 楽しみたいという気持ちもある。
- 文化部でも賞をとりたいという気持ちはある。
 - ・楽しいだけでなく、評価されたい気持ちもあるのということがわかった。
 - ・クラブチームという選択もあるが考えている人はいるか。
- 迷っている。上手くなりたいという気持ちや、夢を追いかけてみたい気持ちもある。
 - ・中学校へ進学したら、入りたという部を決めているのか。
- みんなと一緒にやってきたスポーツ少年団活動を続けたい。
- 7年間やってきた習い事を続けたい。
- 迷っている。(3名)